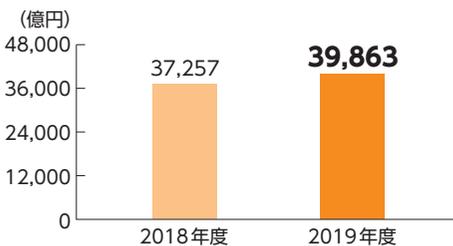


2019年度決算ハイライト

✓ 決算のポイント

- 親会社株主に帰属する当期純利益（連結当期純利益）は、5,281億円
- 貸出金は前年度末比1兆7,021億円の増加、預金は7兆4,522億円の増加
- 普通株式等Tier1比率は11.90%と、十分な水準を維持

連結業務粗利益



米国金利低下影響により資金利益が減少しましたが、国債等債券関係損益の増加に加え、バンクダナモン・First Sentier Investors 連結子会社化による役員取引等利益の増加もあり、前年度比2,605億円増加しました。

与信関係費用総額*

前年に計上した貸倒引当金の戻入の反動に加えて、新型コロナウイルス感染症の影響拡大を考慮した引当金の計上等により、前年度比2,171億円増加し、2,229億円の費用計上となりました。

* 与信関係費用(信託勘定) + 一般貸倒引当金繰入額 + 与信関係費用(臨時損益) + 貸倒引当金戻入益 + 偶発損失引当金戻入益(与信関連) + 償却債権取立益

■ 損益の状況(連結)

● 連結業務粗利益(信託勘定償却前)	
営業費(△)	
連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前)	
● 与信関係費用総額(△は費用)	
経常利益	
親会社株主に帰属する当期純利益	

■ 資産・負債の状況(連結)

資産の部合計	
貸出金(銀行勘定)	
有価証券	
うち国債	
負債の部合計	
預金	
純資産の部合計	

■ 自己資本の状況(連結)

普通株式等Tier1比率	
Tier1比率	
総自己資本比率	

(単位：億円)

2018年度	2019年度
37,257	39,863
26,471	28,018
10,785	11,844
△58	△2,229
13,480	12,357
8,726	5,281

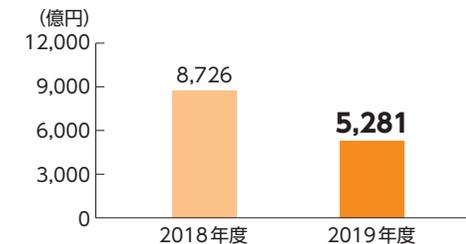
(単位：億円)

2018年度末	2019年度末
3,111,389	3,365,713
1,074,124	1,091,146
642,624	655,551
226,430	217,436
2,938,772	3,197,156
1,801,712	1,876,235
172,616	168,557

営業費

海外での業容拡大や規制対応コスト等により、前年度比1,547億円増加しました。

親会社株主に帰属する当期純利益



海外連結子会社ののれん一括償却に伴う特別損失を計上したことにより、前年度比3,445億円減少し、5,281億円となりました。

貸出金・預金



貸出金残高は、海外向け貸出を主因に、前年度末比1兆7,021億円増加しました。預金残高は、国内店の個人預金および法人預金の増加を主因に、前年度末比7兆4,522億円増加しました。

自己資本比率(バーゼルⅢ)

普通株式等Tier1比率*は、11.90%と引き続き十分な水準を確保しています。

* 普通株式等Tier1比率 = 中核的な自己資本(資本金・剰余金) ÷ リスク・アセット

(注) 業績説明に使用している計数は、各々単位未満を切り捨てて表示しています。従って、表中のある項目の計数と他の項目を加減計算した結果とが一致しないことや、説明文中の増減数値とグラフ・表中の計数を加減計算した結果とが一致しないことがあります。